

MITSUBISHI

三菱電機一体空冷式コンデンシングユニット別売部品

オプションパネル（NP-45A、55A(BS(G))の取付要領

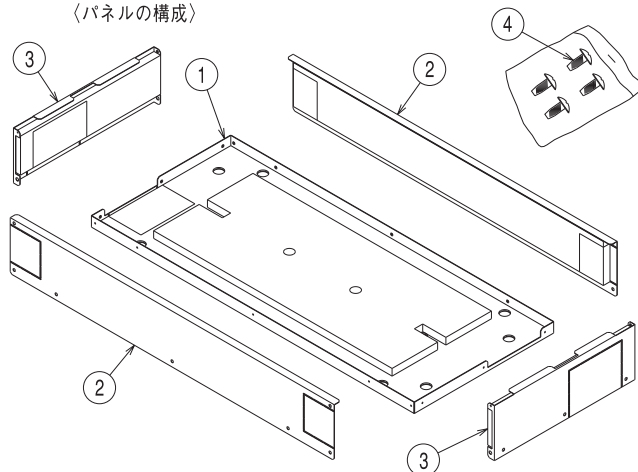
対応機種:ERA-E22A~E45A・E55A、ERAV-E45A

1. オプションパネルの構成部品

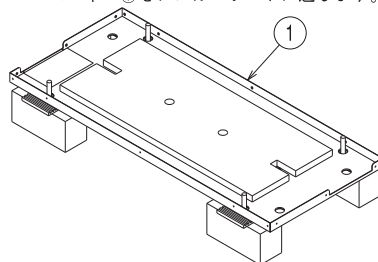
オプションパネルは、次の品物から構成されます。

品名	個数
①ベースパネル	1
②パネルFB	2
③パネルLR	2
④パネル固定ネジ	23 (予備3個含む)

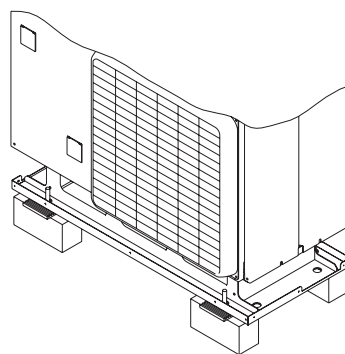
〈パネルの構成〉



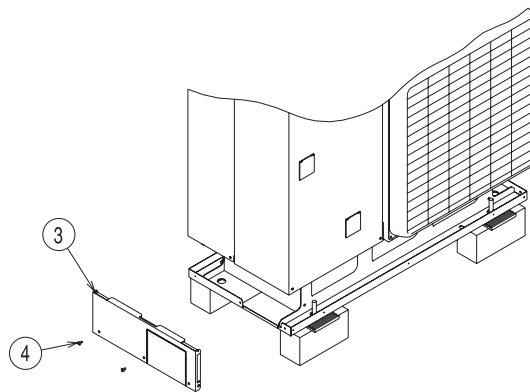
(2) ベースパネル①をアンカーボルトに通します。



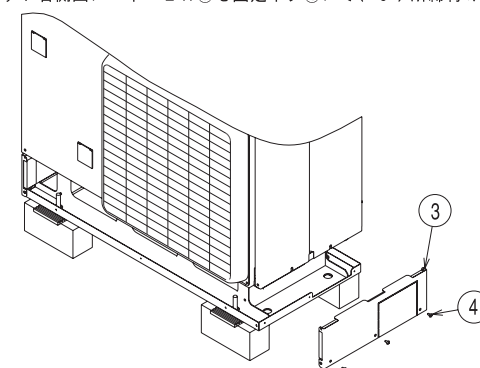
(3) ユニットの据え付け、アンカーボルトにナットを締付けます。



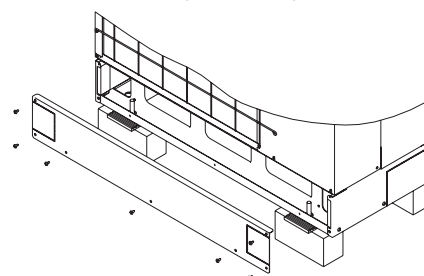
(4) ユニット左側面にパネルLR③を固定ネジ④にて、3ヶ所締付けます。
この時、吸入配管・液配管施工後にパネルを取付けてください。
(必要に応じて、ロックアウト穴を活用ください。)



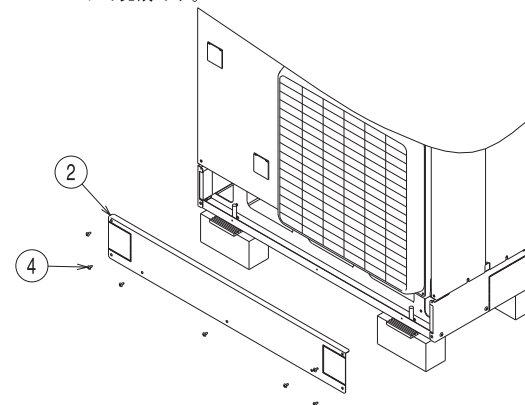
(5) ユニット右側面にパネルLR③を固定ネジ④にて、3ヶ所締付けます。



(6) ユニット背面にパネルFB②を固定ネジ④にて、7ヶ所締付けます。



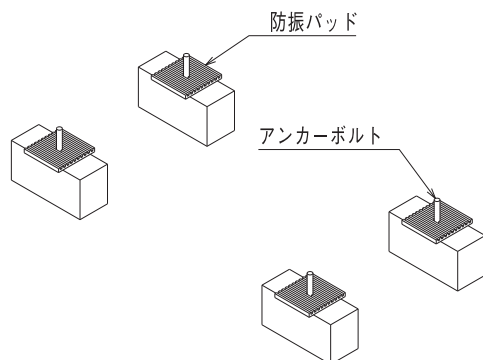
(7) ユニット正面にパネルFB②を固定ネジ④にて、7ヶ所締付けます。
これで完成です。



2. オプションパネルの取付要領

オプションパネルは、次の要領で取付けてください。

(1) ユニットの据え付ける前に、防振パッドをアンカーボルトに通して
ください。



必ず、裏面もお読みください。

W271507H01

MITSUBISHI

三菱電機一体空冷式コンデンシングユニット別売部品

オプションパネル（NP-45A、55A(BS(G))）の取付要領

対応機種:ERA-E22A~E45A・E55A、ERAV-E45A

警告

据付けは、工事説明書にしたがって確実にを行う。

●据付に不備があると、冷媒漏れや火災・感電・水漏れの原因になります。

電気工事業者によるD種（第3種）接地工事を行う。

●アースが不完全な場合は感電事故の原因になります。

配線は、所定の配線を使用して確実に接続し、端子台接続部に接続電線の外力が、伝わらないように確実に固定する。

●接続や固定に不備があると発熱・火災の原因になります。

安全装置・保護装置の設定値は変更しない。

●設定値を変えると、ユニットの破裂・発火の原因になります。

気密試験は確実にを行う。

●冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。

冷媒漏れ時の限界濃度対策は確実に。

●屋内や冷蔵庫へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を越えない対策が必要です。そのような場所に入る場合は、換気を十分に確認してから、入室してください。限界濃度を越えない対策については、弊社代理店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を越えると酸欠事故の原因になります。ガス漏れ検知器の設置をおすすめします。

据付けは、重量に十分に耐えうる所に確実にを行う。

●強度の不十分な所に据付けると、ユニットの転倒落下により、ケガの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

●電源回路容量不足や施工不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

ユニットの端子台カバー（パネル）を確実に取付ける。

●端子台カバー（パネル）の取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外の冷媒や空気などを混入させない。

●混入すると冷凍サイクルが異常高温となり破裂・ケガの原因になります。

冷媒回路サービス時は、換気を十分に行う。

●作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気してください。冷媒ガスが火気に触れると、有害ガスが発生する原因になります。

冷媒ガスの漏れチェックは確実に。

●設置工事後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが機械室内や冷蔵庫内に漏れ火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

保護装置を短絡して、強制的な運転をさせない。

●短絡して強制的な運転を行うと、ユニットの火災や爆発の原因になることがあります。

安全のために必ず守ること

- ご使用前にこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

・お読みになったあとは、取扱説明書とともにいつでも見られる場所に必ず保管し、移設時に読み直してください。

注意

漏電遮断器を取付ける。

●漏電遮断器が付けられていないと、感電の原因になることがあります。漏電遮断器は、ユニット1台につき1個設置してください。

排水工事を確実にを行う。

●雨水・除霜水などが屋内に侵入し、周囲を濡らす原因になることがあります。

換気を行う。

●万一冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になることがあります。

仕様の範囲内で冷凍サイクルを製作する。

●仕様を逸脱して冷凍サイクルを作ると、破裂・発煙・発火・漏電の原因になることがあります。

ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用する。

●針金や銅線を使用すると火災の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に据付けない。

●万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

サービスバルブ操作時は、冷媒噴出に注意する。

●サービスバルブ操作時は、冷媒が噴出します。この時、冷媒を浴びたり、裸火に冷媒ガスが触れると、ケガの原因になります。

ファン及び板金エッジ部に直接手で触れないでください。

●手で触れるとケガの原因になります。

必ず、裏面もお読みください。